

# 農業簿記 10

## 「サービスパック」利用マニュアル

ソリマチ株式会社

### ■本サービスパックの対応内容

本サービスパックは、「農業簿記10」のいくつかの機能を改良したものです。  
農業簿記10をご活用いただくため今後もサービスパックで内容の充実を継続する予定です。

### ■制限事項

本アップデートプログラムには以下の制限があります。  
□農業簿記10 Ver.10.01.00 または Ver.10.01.01 がインストールされているパソコンを  
お持ちのお客様のみが導入可能になります。

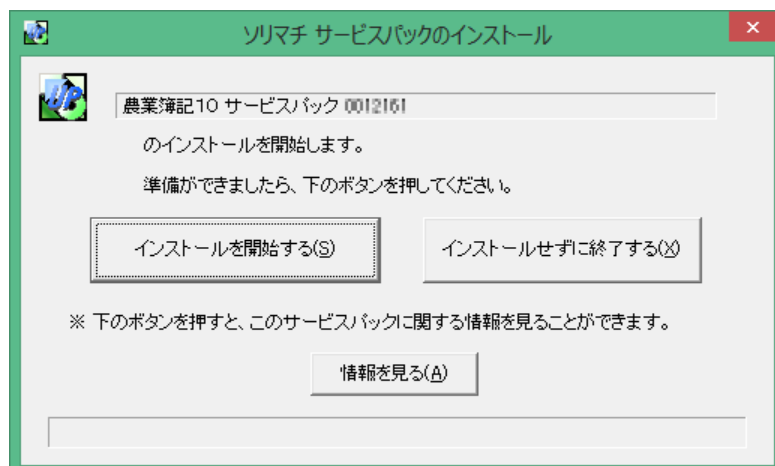
### ■注意事項

農業簿記10を起動している状態では行えません。

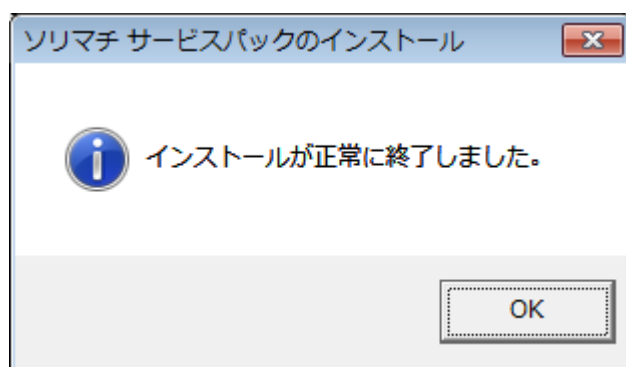
### ■インストール手順

プログラムは圧縮されており、ダウンロード後、「bk10sp○○○○○○○○.exe」を実行すると、  
自己解凍の後に次の画面が表示されます。

- ① 農業簿記10が起動していないことを確認した後に、[インストールを開始する] をクリックしてください。確認メッセージが表示され、[はい] をクリックするとインストールが開始されます。



- ②インストールが完了すると以下の画面が表示されます。  
サービスパックのインストールはこれで終了です。



インストール後、農業簿記10を起動して、通常通りお使いください。

## 解決される不具合・変更点の詳細

---

・過去に特定の操作を行った会計データで、青色申告決算書印刷、収支内訳書印刷、個人事業向けの決算書にて、金額が正しく計算されませんでした。

操作とは

- ・部門管理にて、階層を「階層なし」から「2階層」または「3階層」に変更した
- ・部門管理にて、部門コードを変更した

・部門別実績集計表にて、印刷やテキスト出力した後に終了ボタン等で部門別実績集計表を閉じると、「農業簿記 10 は動作を停止しました」と表示されシステムダウンしていました。

・部門別実績集計表にて印刷やテキスト出力を実行し、部門別実績集計表を終了しても正常に終了できるように改善しました。

・データ保存、データ復元を実行すると、「インスタンスの作成に失敗しました」のメッセージが表示される場合があります。

- ・パソコンを新規に購入した方や、初めて農業簿記10を購入された方で発生する可能性があります。  
データ保存、データ復元にて“インスタンスの作成に失敗しました”のメッセージが表示されないように改善しました。

・銀行、JAバンク、クレジットカードの取引明細を MoneyLink を介して取得し、仕訳として取り込めるように改善しました。

・MoneyLink は全国 99%の銀行、JAバンク、信用金庫、クレジットカード、電子マネー等の取引データを、過去に作成した辞書をもとに仕訳候補を作成したのち、仕訳として取り込むことができるようになりました。

・月末締め会計期間にて 2 月度の月ボタンを選択して印刷を行ったとき、用紙の見出し部分にある日付範囲の至がうるう年ではない年でも 2 月 29 日で出力される。

・会計期間の年を使って、選択された2月がうるう年か、うるう年でないかチェックし、2月末日が至に印刷できるように改善しました。

・画面ショットサービスの終了に伴い、ソリマチ サポートアシストに対応しました。

・ソリマチ サポートアシストのメニューを追加し、ソリマチ サポートアシストを呼び出せるように改善しました。

・青色申告決算書入力および収支内訳書入力の会計期間変更画面にて、会計期間の自、至の日付を変更したのち設定ボタンや印刷ボタンを押下しても、変更前の日付で印刷されていました。

・青色申告決算書入力および収支内訳書入力の会計期間変更画面にて、会計期間を変更したのち設定または印刷を行ったときに入力された日付を取得し正しく印刷できるように改善しました。

・法人事業でかつ勘定科目設定にて、決算書科目欄が”指定なし”で表示されている勘定科目に対して挿入操作を行ったとき、勘定科目と同時に追加される決算書科目が正しい位置に挿入されない。

・決算書科目が“指定なし”の場合、挿入した勘定科目の情報決算書科目を追加する位置を推測し、正しい位置に追加されるように修正しました。

・帳簿、お決まり仕訳登録、お決まり仕訳取込及び振替伝票事例登録にて、仕訳辞書の新規追加画面を表示して登録したとき、コード欄に-10000と表示されてそれ以降の動作が正しく動作できない。

・仕訳辞書プルダウンリスト部品にて、選択されたリストの位置を正しく返すように修正しました。

・法人用の「農業経営基盤強化準備金明細書」の用紙が新しくなりました。

・経営形態が法人でかつ、平成30年4月以降事業年度分の別表十二(十四)「農業経営基盤強化準備の損金算入および認定計画等に定めるところに従い取得した農用地等の圧縮額の損益算入に関する明細書」に対応しました。

・Windows10にて、「Windows で通常使うプリンターを管理する」が有効のときに正しくプリンターが切り替わらずに正しく印刷されませんでした。

・OSが Windows10 でかつ、プリンターの設定が「Windows で通常使うプリンターを管理する」が有効のときでも印刷の書式設定で指定したプリンターで印刷できるように修正しました。

・クミカンデータの取込処理にて、申告区分が簡易課税または原則課税のときに消費税処理方法に従って仕訳を取り込むように改善しました。

・JA北海道版の接続キットを利用している方で、取引データ取込を行ったとき、消費税の申告区分が「簡易課税」または「原則課税」でかつ、消費税処理方法が「税計算なし／税込」のとき、データに内税や外税の取引があった場合でも消費税処理法に従って「税計算なし／税込」の仕訳として取り込むように改善しました。

・検索や月タブを利用し仕訳を絞り込んでいる状態で、月を跨いで前の伝票日付に変更した場合にアプリケーションエラーが発生していました。

・伝票日付を表示条件より前の日付に変更したとき、無条件で処理していた繰越残高の再計算をするのか、しないかを判断し不正なアクセスを行わないように修正しました。

・農事組合法人用の決算書の剰余金処分(または損失金処理)画面にて、剰余金処分の金額欄の横にあるチェックをONに変更したとき、税率5%に該当した金額欄にチェックを付けた金額が転記されてしまう。

・会計期間内に消費税の適用開始日がないばあいには、チェックを付けたタイミングでは金額を転記しないように修正しました。

・元帳、出納帳入力にて、入力済の仕訳に対して補助管理なしの勘定科目から補助管理ありの勘定科目に変更したときに変更前の仕訳が残ってしまう。

- ・入力済の仕訳に対して部門管理なしの勘定科目から部門管理ありの勘定科目に変更したときも同様。
- ・MoneyLink 明細取込機能を対応したとき、帳簿から MoneyLink を呼び出したためにメニューを追加しましたが、繰越行のマスク条件処理に誤りがあり修正しました。

・源泉徴収票作成システムのヘルプに不備がありました。

- ・「2.社会保険料控除申告書 作成」にて、「配偶者控除等申告書」と明記するところが「扶養控除申告書」になっていました。

・データ選択やダイレクトメニュー設定にて拡張環境情報ファイルの書き込みに失敗しました。が表示され、正常に動作しませんでした。

- ・2 月度の WindowsUpdate 後に、農業簿記10にてデータ選択の切り替えやダイレクトメニュー設定の終了時に「拡張環境情報ファイルの書き込みに失敗しました。」が表示されないように修正しました。